

『新規採用予定教員向け野外活動研修』

平成30年3月17日(土)～18日(日)の2日間、新規採用者向けに野外活動研修が行われました。4月から小中学校に新規採用される先生たちが、さしま少年自然の家で、野外活動や家庭教育の大切さを学んだり、学校で活かせる人間関係作りプログラム等を体験したりしました。この研修をとおして、参加者同士のふれあいやつながりが多く生まれ、採用前に抱えている不安や期待などの気持ちを共有し今後の教師生活に活かしていける貴重な時間を過ごしていました。

①はじまりの会の様子(所長からの話)



②アイスブレイク(緊張した心や体を解きほぐすコミュニケーション手法)の様子

“じゃんけんして負けたらチューチュートレインになります”

息を合わせて手をたたく“ビート”



知恵をしぼって輪をくぐる“魔法の鏡”

シートの上のボールを全員で空高く上げる“シートボール”



③ASE(イニシアティブゲーム)体験の様子

課題名“UFO”

課題名“日本列島”



課題名 “アイランズ（島渡り）”



課題名 “くもの巣”



④キャンプファイヤーの様子



⑤下妻市の鈴木先生による「家庭教育の話」



⑥ふり返りの様子(2日間見てきた相手のいいところを発表) ⑦17人の仲間で記念撮影 (合い言葉：人と輪)



＜参加者からの感想＞

- 「はじめは、行くか行かないか、迷っていましたが、でも来て大成功でした。初めての県西、初めての一人暮らし、初めての先生…不安もありますが、すてきな仲間と経験できたのでがんばっていきたくと思います。」
- 「4月からの勤務に当たり、正直不安はあります。ただ、楽しみだった気持ちがより楽しみに思えました。気持ちを共有し、励まし合える仲間のおかげです。」
- 「不安が安心へというキャッチフレーズがあったが、まさにそうだと思う。仲間が増えることはそれだけ安心にもなり、強い結束になった。」
- 「あっという間の2日間、名残惜しい気持ちがわくほど、充実した時間を過ごさせていただきました。この研修で知り合えた仲間たちとはこれからもずっと付き合っていきたいと思います。」